



別所琴平神社は、熊本藩主細川家も参拝した校区の誇り

**道路・鉄道が  
交差する交通の  
要衝として発展**  
**春竹** 校区は中央区の南端  
にあり、熊本市全体  
ではほぼ中央部に位置していま  
す。国道266号線（通称浜線  
バイパス）が校区を南北に貫き、  
それと交差するように主要幹線  
道路の白山通り・琴平通りが東

西に通っています。また、白山  
通り・琴平通りと平行してJR  
豊肥線の線路が延び、ちょうど  
校区の中央にJR南熊本駅があ  
ることから、昔から交通の要衝  
として発展してきました。  
国鉄南熊本駅からは、昭和39  
年3月まで、私鉄の熊延鉄道が  
熊本と上益城方面（御船町、益  
城町、現美里町等）を結んでい  
ました。林業が盛んな上益城地  
域と一本の鉄道でつながってい  
たことで、春竹校区は昔から、  
製材業が盛んな地域でもありま  
した。現在も、校区内には製材  
業を営む企業が点在し、当時を  
偲ばせます。

また、校区内には「こんぴら  
さん」と呼ばれる由緒ある別所  
琴平神社があります。鎌倉時代  
に「瑞応山善光寺」の鎮守「金  
比羅大権現」としてお祀りされ  
て以来、今日に至っています。  
昔は「一に清正公、二に高  
橋稲荷、三が別所のこんぴらさ  
ん」とよばれ、信仰を集めてき  
ました。  
校区の街並みを見ると、市

内中心地に近い北側は古くから  
住宅地として発展してきました。  
一方、JR豊肥線をはさんだ南  
側には、かつては田んぼの残る  
おだやかな風景が見られました  
が、浜線バイパスの開通によつ  
て宅地化やマンションの建設が  
進み、新しく移り住む人が多い  
地区となっています。

**ふれあいのイベントで  
子どもたちに思い出を  
そんな** 春竹校区がま  
ちづくりの柱  
として取り組んできたのが、次  
世代を担う子どもたちを支える  
ための活動です。「校区から子育  
てを！」が、春竹校区の合い言葉。  
毎年8月に開催するまちづくり  
委員会主催の「ふれあいフェス  
タインはるたけ」は、子どもた  
ちの思い出づくりのために行う  
校区最大のイベントです。平成  
25年で16回目を迎え、例年参加  
者が1800人に達するほどの  
賑わいを見せます。

当日は、子どもからお年寄り  
まで、たくさんの人たちが春竹



南熊本駅と白山通り周辺が校区の中心。周辺に、企業や商業施設なども多く並ぶ



# 人と人とのふれあいが 地域での子育ての原点



毎年秋に開催される「ちびっこ相撲大会」。男女問わず熱戦が繰り広げられる、子どもたちも楽しみイベント